

# 絵画から竹工芸の道へ 飯塚小玕齋展

「生誕一〇〇年」

太田の美術 | Art in Ota | vol.2

## A Retrospective: IIZUKA SHOKANSAI

2019(平成31)年2月2日[土]—4月7日[日]

| 前期 | 2月2日[土]—3月3日[日] | 後期 | 3月5日[火]—4月7日[日]

会場: 太田市美術館・図書館 展示室1、2、3、スロープ  
開催時間: 午前10時—午後6時(展示室への入場は午後5時30分まで)  
休館日: 月曜日(ただし、2月12日は祝日のため開館し、翌日火曜日休館)  
主催: 太田市、一般財団法人太田市文化スポーツ振興財團  
協賛: 株式会社SUBARU | 協力: 株式会社資生堂、  
河本工業株式会社、栃木県立美術館、東京藝術大学、  
東武鉄道株式会社、萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館、  
琅玕洞 | 後援: 太田市教育委員会、太田商工会議所、  
群馬テレビ、株式会社 エフエム群馬、エフエム太郎、  
NHK前橋放送局、上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、  
産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、光ネット株式会社、  
毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局



太田市  
美術館・図書館  
ART MUSEUM & LIBRARY,  
OTA



1



2



3



5



4



6



7

## [表面]

上 飯塚小玕齋《K娘像》  
1942年、太田市美術館・図書館蔵  
下 飯塚小玕齋《白鈴花籃 銘 大海》  
1987年、太田市蔵

- 1 藤島武二《逍遙》  
1898年、東京藝術大学蔵
- 2 飯塚小玕齋《抽象紋竹風炉先屏風》  
1955年、栃木県立美術館蔵
- 3 飯塚小玕齋《縄編変形花籃》  
1977年、資生堂アートハウス蔵
- 4 飯塚小玕齋《阿波世編網代手花籃》  
1979年、資生堂アートハウス蔵
- 5 飯塚小玕齋《九葉柄文網代八角盆》(絶作)  
2003年、個人蔵
- 6 飯塚小玕齋《竹網代まんじ織文高盤》  
1976年、栃木県立美術館蔵
- 7 飯塚小玕齋《麻の葉輪組花籃 銘 洗心》  
2001年、太田市蔵

\*会期中、作品・資料の展示替がございます。  
詳細はお問い合わせください。

「竹は自然が最も美しいと思う」——飯塚小玕齋(1919-2004/本名:成年)は、竹という素材を尊重し、竹ならではの造形美を追求した竹工芸家です。1982(昭和57)年には、重要無形文化財「竹工芸」保持者(人間国宝)に認定され、「用の美」の理念のもと、作品を磨き上げました。群馬県太田市には、1981(昭和56)年、赤松の生い繁る金山の豊かな自然環境に惹かれて東京から転居、以降亡くなるまで当地に工房を構えています。父・琅玕齋から学んだ技術を現代的な感性で発展させた作品は、今日の竹工芸の基盤を形成したとも言われ、格調高く、洗練された美しさを有しています。

その小玕齋が、若かりし頃、画家を目指していたことはあまり知られていません。代々竹工芸を生業とする飯塚家の次男として生まれた小玕齋は、幼少期から竹に親しんできたものの、画家を志し東京美術学校油画科(現・東京藝術大学)に入学、画家・藤島武二の教室で、画業の研鑽に励みました。しかし、父から竹工芸を継承すべく修行をしていた長兄・幹雄が1943(昭和18)年に他界。戦後復員ののちは、画家を諦め、琅玕齋の指導のもと、竹工芸の道へ進むこととなります。竹工芸家としての初期の主な発表の場であった日展への出品作品は、竹を素材にしながらも、具象的・抽象的表現を取り入れた、絵画研究を下地とするものでした。ところが、竹という素材と向き合うなか、そのような鑑賞を主体とする作品ではなく、使用することを一義とした「用の美」の追求こそ本来の竹工芸の仕事ではないかと思い至ります。

飯塚小玕齋の生誕100年を記念して開催する本展では、非凡な画才を感じさせる中学校時代のスケッチから東京美術学校時代の卒業制作、そして竹工芸に絵画的な表現を取り入れていた時期の作品を経て、「用の美」へと至る晩年までの仕事を約30点の竹工芸作品と資料によって振り返ります。当初は自身の意に反しながらも絵画から竹工芸の道へと邁進し、挑むようにして素材と向き合い、工芸とは何か、美とは何かを真摯に問い合わせ続けた飯塚小玕齋の歩みをご覧ください。

## 関連イベント

## | 1 | 講演会: 飯塚小玕齋の竹工芸を応援する

出演: 山下裕二(美術史家、明治学院大学教授)、飯塚万里(飯塚小玕齋長女、「琅玕洞」主宰)

日時: 2019年3月10日[日]午後3時-4時30分(2時30分開場)

会場: 当館3階視聴覚ホール | 定員: 80名

## | 2 | 鼎談: 弟子から見た飯塚小玕齋

出演: 松本破風(竹工芸家)、武闘翠(竹工芸家)、大木淑恵(竹工芸家)

日時: 2019年3月30日[土]午後3時-4時30分(2時30分開場)

会場: 当館3階視聴覚ホール | 定員: 80名

## | 3 | ギャラリートーク

講師: 担当学芸員

日時: 2019年2月23日[土]、3月23日[土]午後2時-3時 | 会場: 展覧会場 | 定員: なし

## | 4 | こども鑑賞ツアー

講師: 担当学芸員

日時: 2019年2月3日[日]、3月3日[日]午後1時30分-2時 | 会場: 展覧会場 | 定員: なし

いずれも参加費は無料です。

1,2へご参加をご希望のお客様は、事前のお申込が必要です。詳細はHPをご覧ください。

観覧料: 一般 300(200)円

※( )内は、本展有料券の観覧済半券をお持ちの方、20名以上の団体及び太田市美術館・図書館カード、ふらっと両毛 東武フリーパスをお持ちの方。65歳以上、高校生以下、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付者及びその付添人1人は無料。おおた家庭の日(毎月第1曜日)は中学生以下の子ども同伴の家族無料。

